

TOPICS

中四国・九州初！香川大学公的統計ミクロデータオンサイト施設が開設

3月1日に香川大学公的統計ミクロデータオンサイト施設（通称：Kada-Stat）が設置されたことを記念して3月3日にオープンセレモニーを行いました。こちらの施設は、国の58種類の統計調査の集計前の調査票データ（ミクロデータ）を独自に分析が可能な専用施設であり、全国12例目、中四国・九州では初となります。まず、対学長から「他大学や企業等の研究者の方が利用可能であり、新たな知識の交流が未来への貢献となることを願う。研究成果を香川県から日本、世界に向けて大きく羽ばたかせてていきたい」と開会の挨拶がありました。

本施設により、データサイエンスに関わる教育・研究の水準向上が期待されるとともに、地域企業や行政との連携において公的統計を活用しやすくなるなど地域貢献が期待されます。



看板掲揚式 左から岡田教授、川池理事、対学長、吉田館長、片岡理事、川端学術部長

香川大学イノベーションデザイン研究所シンポジウムを開催

3月4日、香川大学イノベーションデザイン研究所は、オンライン配信にて、シンポジウムを開催しました。「人財育成と地域貢献を考える」と題したパネルディスカッションや、研究所で実施している活動報告を行い、今後の香川県及び交流地域の発展や持続可能な地方分散型社会を実現するため、大学の果たすべき役割について課題等の共有を図ることを目的として開催したものです。松木則夫研究所長から、イノベーションデザイン研究所の目指す方向性について説明があった後、



対学長による主催者挨拶

四国5国立大学法人連携による「一般社団法人四国地域大学ネットワーク機構」設立

高等教育を取り巻く環境が大きく変化する中、四国の各国立大学がこれまでの連携によって推進してきた四国地域における高等教育の機能強化をさらに発展させることを通じ、多様化する学修者のニーズや社会からの人材育成等に係る要請に応えるとともに、四国地域の発展に貢献することを目的として、四国5国立大学法人（徳島大学、鳴門教育大



左から 鳴門教育大学長、徳島大学長、愛媛大学長、高知大学長、香川大学長



香川大学広報紙「カダイゲスト」

KADAIGEST 3 2021



KUCC
九州TOURING

広大な自然に囲まれた道を走り抜けます



九州の山をバックに



雨の中、登り切った阿蘇山



自転車のメンテナンスで快適な走りを実現します



自転車で走り切った後の景色は忘れられません



自転車タイムレースでのTOP3です



五色台ヒルクライム後の集合写真



好みのデザインの愛車とともに旅します

香川大学 サイクリング部

サイクリング部では、火曜日と金曜日の授業後に活動しています。また、土・日曜日や長期休暇を利用して長距離ツーリングや合宿を行っています。部員は現在15人で、全員が大学から自転車（スポーツバイク）に乗り始めました。

ところで皆さんはサイクリング部と聞いてどのような活動をする部か想像ができますか？高校にはなかった馴染みのない部活だと思います。サイクリング部を一言で表すと“旅”です。自転車に乗って県内だけではなく、日本全国を巡ります。普段の授業後の活動で自転車の走行技術や整備、キャンプ技術を磨きます。そして長期休暇を利用したツーリングや

合宿でその技術を生かして、山越え谷越えで目的地を目指します。一昨年は夏休みに九州へツーリングに行きました。六日間で総距離250kmを走る長旅で、仲間と愛車とともに阿蘇山や高千穂峡を目指しました。旅の最中には、雨に打たれたり、自転車のパンクなどのトラブルで目的地にたどり着けなかったりもしました。しかし、その困難に仲間とともに立ち向かった経験は、これから未知の未来を歩んでいく私たちに力を与えてくれます。私たちとともに自転車で山を越えた先の景色を見に行きませんか？自転車を持っていなくても貸出用のものがあるので、是非立ち寄ってみてください。お待ちしております！

活動場所・第一体育館横グラウンド
活動時間・火と金 18:30~20:00
部員数・15人
Twitter@cycling_kucc
Twitter(新歓用)@Kagawa_Uni2020



サークル歴2年
法学部2年
上田慶一郎

清掃で地域と大学を繋ぐ ボランティアサークル「ブルームネクスト」



海の日に大学から徒歩15分ほどにある大場海岸へ清掃に行きました

ボランティアサークル「ブルームネクスト」は、活動コンセプトの「地域と大学を繋ぐ」を大切に日々活動しています。

香川大学には、地域の方々や学長をはじめ役員や大学職員が集まり毎週火曜日の朝7時30分から大学構内や周辺の清掃活動を行っている「ほうきの会」というボランティア団体があります。昨年、コロナ禍により行動が制限され、人と出会う機会が少なくなるなか、寂しさを感じていた頃、学内で掃除をしている人をみかけ、声をかけたことが始まりでした。「ほうきの会」の参加者には、香川大学の卒業生や地域のキーマン、地元企業を退職された方も多く、普段の学生生活では知ることのできない地域の情報を得ることができたり、年功者との会話から新たな気づきをもらってくれたりもします。

活動をともにするうちに、私たち学生が中心となり清掃活動を行うグループを作りたいと、ブルームネクストを昨年2020年5月に発足。ブルームには「broom・ほうき、bloom・花咲く」という意味があり、ほうきを使って活動し、花を育て、笑顔を咲かせたいという思いを込めています。

最初のメンバーは4人でしたが、大学内の緑地活動やイルミネーションを設置するなどの活動を続けるうちに、活動に賛同してくれる仲間が増え、今では12人になりました。コロナ禍の影響で、対面授業やサークル活動が制限されるなか、「入学して初めて学生と一緒に活動ができて嬉しかった」という一年生の声が聞けたり、設置したイルミネーションの写真を撮影している人に出会ったりしたときはブルームネクストを立ち上げて良かったと思いました。

今後は学外での活動や、地元の小学生や幼稚園児と行うイベントも企画しています。地域との繋がりを少しずつ広げて、ブルームネクストを認知していただき、いつかは地域に必要とされる団体になることを目指しています。

発足したばかりのサークルですので年間行事のフォーマットは存在せず全て自分たちで活動内容を考えています。一人ひとりがサークル内で持つ裁量権が大きくメンバー全員で最初の一歩踏み出す経験ができるることは大きな魅力です。メンバーは他の部活・サークルに入っている人も多く話題が豊富で愉快な人たちばかり。コロナ禍により行動の制限は、まだしばらくは続くかもしれませんが“今”できることはあります。“学生にできることは何があるのか”と一緒に考え活動してみようという方、お待ちしています。



ブルームネクストのメンバーと



「ほうきの会」のメンバーと



イルミネーションの設置準備



イルミネーション設置完了



ブルームネクスト発足メンバー
左から東大翔、藤本翔大、瀬戸陵（寄稿者）、尾平恵介【経済学部3年】

大学キャンパス内の清掃や、花の植え替えなど、僕たちと一緒に活動しませんか？いろんな人と関わりたい、何かを作り上げていくことが好き、そんなあなたを募集しています。興味を持った方は、LINEチャットからのご連絡をお待ちしています！！



from International Office



ちきゅう見聞録



イタリア～トリノ～
農学研究科
大川真実
2019年9月から2020年3月まで
トリノ大学に留学



私はトリノ大学で、アメリカミズアブという昆虫について研究しました。飼育が容易なミズアブの研究を進めることで、日本国内での飼の自給・安定供給、さらに食品廃棄物を減らすことを目指して研究に励みました。



トリノは北西部がアルプス山脈に囲まれており開けた場所に出ると、きれいな山々を見ることができます。車で1時間半ほどでスキー場や雪山の村に行くことができます。雪山に別荘を持っている人もおり、冬にはその別荘で休日を過ごしています。



研究以外に合気道にも取り組みました。もともと香川大学で合気道をしており、トリノで住んでいた寮の近くに道場があるのを知り、週に2・3回、稽古に参加させていただきました。

[read more](#)

